

弓削神社



愛媛県 南宇和郡愛南町 緑乙1586

祭神（さいしん）・物部守屋大連（もののべのもりやおおむらじ）

物部守屋は、古墳時代の太連（重い役職、有力豪族）。大阪府に大もとがあった。聖徳太子と同時代。物部守屋の子供。蘇我氏（そがし）と海外から来た仏教を日本に入れるか入れないかで争った。物部氏は日本の昔からある神道を守ろうとしていた。（丁未〔ていび〕の乱）勝った方には、お寺を預けることになったが、結果は負けてしまった。

弓削神社の名前の由来

守屋の母親の名字が弓削だから弓削神社となった。

神様を祀る場合、だいたい3つのグループに分かれている。

- 1 自然を祭る（石、太陽、風など）
- 2 天地神を祭る...天と地のあらゆる神々のこと
- 3 実在人物を祭る